

資料編

1 アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

「第3次健康増進計画及び食育推進計画」「いのち支える牧之原市自殺対策計画」の評価、及び「第4次健康増進計画及び食育推進計画」「第2次いのち支える牧之原市自殺対策計画」の策定にあたり、市民の食と健康に関するご要望・ご意見などを把握するために調査を実施しました。

(2) 調査対象及び調査方法

区分	年齢	調査方法
就学前児童保護者	0～6 歳	Web システムから回答
中学校2年生生徒	14 歳	Web システムから回答
市民	20～64 歳	郵送による配布・回収、 Webシステムから回答

(3) 調査期間

令和5年10月24日から令和5年11月15日

(4) 回収状況

対象	配布数	有効回答数		有効回答率
就学前児童保護者	600 通	347		57.8%
中学校2年生生徒	352 通	139		39.5%
市民	1,400 通	用紙	442	48.9%
		Web	243	
		合計	685	

2 健康増進計画関連

(1) 計画策定関係名簿

① 健康づくり推進協議会委員名簿

	所属	氏名
1	中部保健所	岩間 真人 (令和5年度) 永井 しづか (令和6年度)
2	榛原医師会	廣瀬 弘明
3	榛原歯科医師会	大井 通
4	榛原薬剤師会	松浦 正太
5	相良小学校	杉山 浩 (令和5年度)
	菅山小学校	小倉 圭司 (令和6年度)
6	スポーツ推進委員	本杉 一宏
7	社会教育委員	水野 佳美
8	(株)小糸製作所相良工場診療所・保健師	今村 早苗
9	民生委員児童委員協議会	八木 美恵子
10	社会福祉法人 牧ノ原やまばと学園	中村 恵利子
11	保健委員会	吉添 晶子 (令和5年度) 池田 敦 (令和6年度)
12	健康づくり食生活推進協議会	加藤 はつ枝 (令和5年度) 西谷 千賀子 (令和6年度)
13	生きがいリーダー連絡協議会	鈴木 干城
14	聖隷クリストファー大学	江口 晶子
計画策定 アドバイザー	静岡社会健康医学大学院大学	田原 康玄

② 健康増進計画策定作業部会・検討会

所属・部	課	作業部会	所属・部	課	作業部会
総務部	総務課		建設部	建設課	
企画政策部	秘書広報課			公園公共建築課	○
	地域振興課		教育文化部	学校教育課	○
福祉こども部	福祉相談課	○		大河ドラマ活用 推進室	○
	子ども子育て課	○		スポーツ推進課	○
健康推進部	健康推進課			社会教育課	○
	長寿介護課				
経済産業部	観光課	○			
	商工企業課				

(2) 策定経過

年月日	会 議 等	内 容
令和5年 9月4日	第1回健康づくり推進協議会	アンケート内容協議・検討
10月24日 ～ 11月15日	健康と食に関するアンケート調査	・食生活、運動、心身の状態、日常生活・健康意識 ・日常生活、学校や勉強、取り巻く環境、子育ての悩み、経済的状況
令和6年 2月9日	第2回健康づくり推進協議会	第3次健康増進計画の重点目標の評価(アンケート結果含む)
3月～4月	健康推進課内ワーキング	健康課題、目標の整理
5月30日 6月11日	計画策定作業部会(関係課職員)	運動・身体活動分野の課題に対する目標と行政取組の検討
5月2・17日 6月21日 6月26日 6月28日	市民団体ワークショップ ・健康づくり食生活推進協議会 ・保健委員会 ・生きがいリーダーハッピー研修会 ・青の会	健康課題への対策検討 (朝食摂取、減塩対策、検(健)診定期受診、受動喫煙防止、適正飲酒、睡眠、認知症予防)
6月24日	第1回歯科保健推進会議	歯・口腔分野の課題・目標の確認と対策検討
7月22日	第1回自殺対策ネットワーク会議	こころの健康分野の課題・目標確認と対策検討
7月3日	思春期保健検討会	プレコンセプションケアの推進についての検討
8月1日	第1回健康づくり推進協議会	計画骨子案と計画の展開案の意見交換
9月30日	歯科専門職会議	歯科保健分野の計画素案の協議
10月23日	第2回健康づくり推進協議会	計画素案の協議
11月28日 ～ 12月27日	パブリックコメント	
令和7年 2月27日	第3回健康づくり推進協議会・第2回歯科保健推進会議(合同会議)	パブリックコメント報告及び計画最終案について

（３）進捗管理

身体活動・運動分野において、全庁体制でPDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）にて取り組んでいきたいため、進捗管理シートを活用します。

身体活動・運動 進捗管理シート

項目	内容	主担当課	関連課
運動イベント	マラソン大会やサーフィン大会の定期的な実施を年間通して計画し実施する。	スポーツ推進課 観光課	
体育施設や公園等の利用	移動式遊具や体育施設内等のレクリエーション器具（ライフジャケットやボディボード含む）の貸し出しをPRし利用拡大を図る。	公園公共建築課 スポーツ推進課	子ども子育て課
公園・歩道の整備	行きたくなる・楽しめる・歩きたくなる公園や公共施設の設置や整備を行う。	建設課 公園公共建築課	
ウォーキング・サイクリングマップ活用や作成	私の推しウォーキングコースを募集したり、季節を楽しむウォーキングコースなどのおすすめコースを作成し、活用していく。	観光課	健康推進課 スポーツ推進課 建設課 大河ドラマ活用推進室
	文化財等を周遊できるアプリ等のデジタル技術を活用し、利用者の拡大を図る。	大河ドラマ活用推進室	
	サイクル事業やサイクリングマップを推進していく。	大河ドラマ活用推進室 建設課 観光課 スポーツ推進課	
広報・周知	スポーツイベント 、身体活動が増えそうなイベントの 告知を幅広く 、タイムリーに発信する（ 広報紙 、ホームページ、SNS、報道機関など）	スポーツ推進課 観光課 公園公共建築課	秘書広報課
地域活動の底上げ	地域の通いの場の活動やボランティアの育成を支援する。	長寿介護課	健康推進課
運動に行くための交通手段の確保	市内を運行する路線バスの充実を図る。	地域振興課	
	より利用しやすいデマンドタクシーを整備していく。		

太字は計画書本文中にも文言あり

3 食育推進計画関連

(1) 計画策定関係名簿

① 食育推進会議委員名簿

	所属	職	氏 名
1	中部保健所	所長 所長	岩間 正人 (令和5年度) 永井 しづか (令和6年度)
2	萩間小学校 勝間田小学校	校長 校長	櫻井 真弓 (令和5年度) 原田 正裕 (令和6年度)
3	茶業振興協議会	代表	杉田 素之
4	ハイナン農業協同組合	代表	外村 裕也
5	食品衛生協会	代表	櫻井 日出太郎
6	(株)伊藤園	課長代理	落合 はなな (令和5年度) 青木 大 (令和6年度)
7	健康づくり推進協議会	代表	大井 通
8	消費者協会	会長 会長	杉林 宣子 (令和5年度) 竹内 桂子 (令和6年度)
9	市PTA連絡協議会	会長 会長	鈴木 剛 (令和5年度) 吉岡 巧美 (令和6年度)
10	社会福祉協議会	会長	杉本 正
11	地区長会	地頭方区長 菅山区長	曾根 優治 川田 和弘
12	健康づくり食生活推進協議会	会長 会長	加藤 はつ枝 (令和5年度) 西谷 千賀子 (令和6年度)
13	牧之原市商工会	次長	増田 巧
14	ビタミンネットワーク	代表 理事	小栗 弘行 (令和5年度) 寺田 美智男 (令和6年度)
15	萩間保育園 牧之原保育園	園長 園長	山田 まり (令和5年度) 山本 恵子 (令和6年度)
16	企画政策部	部長	大石 佳伸
17	市民生活部	部長 部長	山本 喜宣 (令和5年度) 前田 里芳 (令和6年度)
18	福祉こども部	部長	櫻井 康章
19	産業経済部	部長	原口 亨
20	教育文化部	部長 部長	内山 卓也 (令和5年度) 竹内 英人 (令和6年度)
21	健康推進部	部長	河原崎 貞行
学識経験者 (計画アドバイザー)		浜松医科大学 健康社会医学講座	研究員 近藤 今子

② 食育推進会議行政部会 委員名簿

N0	所属	職	氏 名
1	中部健康福祉センター	班長 専門主査	平塚 歩実 (令和5年度) 櫻井 真汐 (令和6年度)
2	牧之原市立細江小学校 牧之原市立相良小学校	栄養教諭 栄養教諭	矢入 陽子 (令和5年度) 見崎 由美子 (令和6年度)
3	総務部 危機管理課	主査	松井 美栄子
4	企画政策部 秘書広報課	課長 主幹	福代 正樹 (令和5年度) 横山 泰広 (令和6年度)
5	市民生活部 環境課	主幹 主幹	知久 達哉 (令和5年度) 山口 佑介 (令和6年度)
6	福祉こども部 子ども子育て課	栄養士 栄養士	川崎 恵子 (令和5年度) 渡辺 貴菜 (令和6年度)
7	牧之原社会福祉事業団 萩間保育園 牧之原保育園	園長 園長	山田 まり (令和5年度) 山本 恵子 (令和6年度)
8	牧之原保育園 牧之原市社会福祉事業団 菅山保育園	主任保育士 主任保育士	岩崎 まどか (令和5年度) 山下 あゆみ (令和6年度)
9	福祉こども部 福祉相談課	主任	増田 孝成
10	健康推進部 長寿介護課	主任保健師 総括主幹	中村 直樹 (令和5年度) 萩原 美保 (令和6年度)
11	産業経済部 農林水産課	主事	山本 梨夏 (令和5年度)
12	産業経済部 お茶特産課	主任	清泉 洋子
13	産業経済部 商工企業課	主幹	中村 哲
14	教育文化部 学校教育課	指導主事 指導主事	大石 繁忠 (令和5年度) 芝原 一史 (令和6年度)

(2) 策定経過

年月日	会 議 等	内 容
令和5年 8月22日	第1回食育推進会議 行政部会	計画の進捗状況報告 計画の策定の検討
8月31日	第1回食育推進会議	計画の進捗状況報告 令和5年度第1回食育推進会議行政部会 についての報告、課題、策定の検討
10月24日～ 11月15日	牧之原市 健康と食に関する アンケート調査	・食生活、運動、心身の状態、日常生活・ 健康意識
令和6年 2月2日	第2回食育推進会議行政部会	健康と食に関するアンケートの結果報告 計画の評価
2月15日	第2回食育推進会議	健康と食に関するアンケートの結果報告 計画の評価
5月2日 5月17日	ワークショップ ・健康づくり食生活推進協議 会	①朝食推進 ②お塩の取り方を改善するには ③野菜の摂取を増やすには
5月23日	ワークショップ ・ちょっとサポーター	高齢者の共食を推進するには
6月4日	第1回食育推進会議行政部会	食育の現状と課題検討 食育推進計画骨子、構成案等報告
6月4日	ワークショップ ・食育推進会議行政部会	①調理技術、伝統食文化の継承 ②地場産品を食卓にのせるには ③もったいないに取り組むを地域で意識 して推進してもらうには
6月27日	第1回食育推進会議	食育推進の現状と課題の共有 食育推進計画骨子、構成案承認
6月27日	ワークショップ ・第1回食育推進会議	①調理技術、伝統食文化の継承 ②地場産品を食卓にのせるには ③もったいないに取り組むを地域で意識 して推進してもらうには
6月28日	ワークショップ ・青の会	①朝食摂取の増加 ②野菜の摂取の増加
10月11日	第2回食育推進会議行政部会	計画の素案説明及び意見交換
10月28日	第2回食育推進会議	計画の素案説明及び意見交換
11月28日～ 12月27日	パブリックコメント	
令和7年 2月17日	第3回食育推進会議 (行政部会傍聴)	パブリックコメントの報告 計画案の承認

（３）食育推進計画策定にかかる団体ヒアリング結果のまとめ

ヒアリングシート

	茶業振興協議会	ハイナン農協組合	食品衛生協会
① 今 行 っ て い る 食 育 事 業	○ティーヒーロー選手権 ・お茶の淹れ方の啓発及び体験、家族を含めた関心を高め、知識を提供 ○幼稚園・保育園、小・中学校へお茶の葉の提供 ○お茶カフェ ・地場産物であるお茶に親しむ、おいしさに気づく ○幼稚園・保育園でのお茶の淹れ方教室 ・勝間田小学校総合学習にて、寒茶づくりでの放棄茶園再生への取組み ○茶工場の見学の実施 ○中学校3年生に緑茶の効能と受験について話をしている ・チャージンの活用 ○まきのはら協奏曲～市内のお茶屋さん大集合～ ○寒茶づくり体験会から～春夏秋冬シーズン体験 ○インスタグラム等のSNSを活用した情報発信 ○お茶を活用した商品の開発、販売を行う（お茶シロップ・茶蜜、アイス等）	○青壮年部事業 ・ティーヒーロー選手権（お茶クイズ・闘茶会） ・さつま芋の定植・収穫 ・まきのはら協奏曲・新茶まつりでのミニ闘茶会の実施 ○女性部事業 ・萩間小学校でのおはぎづくり ・坂部保育園での味噌作り ○その他、学校での食農教育活動 ・茶摘み体験 ・茶工場見学 ・お茶の淹れ方教室 ・野菜作り教室 ・小学校への落花生種子配布	○地産地消支援事業「勝負メシ」事業に力を入れている ○食中毒予防月間活動 ・ノロウイルス、新型コロナウイルス感染症防止、感染症予防を呼びかけ、リーフレット、ティッシュ2,000個を、手洗い、うがいの重要性を広めた ・地頭方支部は地区の公民館7ヶ所、相良支部は、スーパーマーケット3ヶ所、榛原支部は、7ヶ所で啓発事業を行った ・市の広報への記事の掲載、食中毒警報及び注意報の広報を行った ○食品衛生責任者講習会の実施 ○地域食品衛生向上事業の実施 ・HACCPシステムの衛生管理思想を普及推進 ○旅館、民宿、海の家を対象に一斉監視実施 ○「私のお店は5つ星です。」事業の実施
② 課 題	○若い世代のお茶（リーフ）離れ及びペットボトルの緑茶を飲む機会が減っている ○ゆのみ、急須のない家庭の増加 ○お茶の消費量の減少 ○カフェインのデメリットだけでなく、お茶の健康効果、冷茶の効能を伝える ○お茶のイベントが継続する中で、新しい取り組みや企画 ○カフェが少ないため、外で緑茶を飲む場所が少ない	○青壮年部の人数が減り、現在の事業を継続することに尽力している ○例年、ティーヒーロー選手権を小学5年生を対象に開催してきたが、近年は学校によっては授業スケジュールの都合により開催が困難となってきているため、対象学年や開催方法の柔軟な対応が必要 ○年度によって事業の実施が困難な場合がある。 （例：異常な猛暑により大豆が不作） ○温かいお茶よりも冷茶の方が子どもに人気がある ○深蒸し茶は酸化が激しいので、水筒に入れると味が変わってしまう。お湯の温度で酸化してしまう。味を変えないようにするのは家庭では難しい	・地産地消を消費につなげ、啓発すること
③ 目 標	○急須でお茶を飲む伝統、食文化を次の世代につなげる ○緑茶の茶葉から作られたお茶を普及しお茶お飲み人を増やす ・フィルターインボトル、冷茶を普及啓発する ○緑茶を活用し健康効果を普及啓発する	○食農教育（食育＋農業） ・食材をただ食べる物としてではなく、どうやって作られたか、作る楽しさを仲間との体験を持って伝える ・お茶について楽しく学び体験していただく。地域茶業への深い知識と、お茶の美味しさや文化を伝え、お茶ファンとして育成するとともに、地域の特産物の良さ、食と農の大切さを伝える ・正しい安全な食品選びの知識も最終的には伝えていきたい（例：色・形の悪いきゅうりこそ自然） ・事業の継続	・9月に予定されている将棋の王位戦で勝負メシに選ばれた地産地消の啓発を行う ・食品衛生思想の普及向上
④ 市 民 と し て の き め こ と	○若い市民も急須やフィルターインボトルを活用する ○会議や集まりでお茶を提供する ○お茶の効能を学ぶ ○お茶が関わるイベントに参加する	○県外に出た時、お茶の淹れ方・知識ともに他市民とは一味違う子になってほしい ○子どもが家族にお茶を淹れてあげること ○で、毎日でなくとも家族揃ってお茶を飲み、健康な生活を送る	「地産地消」 ・勝負メシなど、まきのはらのSNS等で情報を確認する ・勝負メシの投票など関連する事業に参加する 「健康管理」 ・衛生に関心をもちさせる。手洗い、うがいを正しい、感染症対策を実施し、食の安全について学ぶ機会を持つ ・食品表示を確認して食品を購入する
⑤ 団 体 と し て の き め こ と	○子育て世代への啓発 ・3歳健診や支援センターで、お茶の淹れ方を啓発及び試飲の提供をする ○新しいお茶の楽しみ方 ・ブランド名の定着、洋食・洋菓子とお茶のコラボ ・健康への効果等お茶の魅力について伝える ・さまざまなお茶（和紅茶、粉茶、抹茶、晩茶）の普及、急須以外のお茶の飲み方を伝える（フィルターインボトル、ティーバック、スティックなど） ○図書交流館や文化の森図書館、静岡空港や茶の都ミュージアムなどの施設を活用する ○緑茶が飲めるカフェ、売店を公共機関に併設するよう提案する ○SNSを活用して継続的に情報発信を行う ○寒茶体験などお茶の生産者と茶園の場所で開催する場を設ける ○様々な茶生産者として、色々なお茶テイスティングや、茶園からのお茶作り体験・茶草場農法体験、茶加工品の食事といった、地元・地域で点在するコト・モノを、繋げていく「静岡牧之原ツアー(おんばく)」の開催	○事業の継続 ○学校への食農教育活動の提案 ・体験を中心とした授業 ○お茶や急須、フィルターインボトルの販売 ○行政などの他団体との接点を活用・維持していき、相互の食農教育活動の協力関係を築く	○地産地消支援事業（勝負メシ）のポスター掲示を行い周知啓発を行う ○食中毒予防、感染症対策として、地域で手洗い、うがいの重要性を広める ○5つ星事業の継続実施 ○5つ星事業を継続実施し、HACCPの考え方を取入れた衛生管理を推進する

	ビタミンネットワーク	商工会	消費者協会	笑呼キャンペーン
① 今 行 っ て い る 食 育 事 業	- 鈴木梅太郎博士の活動、功績の普及啓発 12/13ビタミンの日の普及活動 - 梅太郎丼の啓発 - 地頭方小学校150周年念旗の掲揚 - 梅太郎丼の啓発 - 梅太郎ものがたり地頭方小学校マンガ化 「ビタミン愛♡親守詩」の募集	- まきベイと連携した事業の実施 - 地産地消支援事業（勝負メシ）の継続実施 - マキティーレトルトカレーを継続販売 - まきのはら産業フェアの再開 - はしご酒事業の再開	消費者展、出前講座等で「減らそう食品ロス」のパネル展示を作成したものを紹介し、市民に啓発している	「まきのはら産業フェア」にて食品ロス削減について、ポスターやクイズを作成・掲示して周知
② 課 題	「ビタミンマーク」の活用 「ビタミンの日」のPR - 会員拡大 - 経済活動との関連性 - 牧之原市民でも鈴木梅太郎博士を知らない人もいる - 商標登録の維持費がかかる 「ビタミンの町」と謳えるのは牧之原市だけなので、これを活用して商売や健康につながると良い	- まきベイと連携した事業の実施。 - 地産地消支援事業（勝負メシ）の継続実施	- 家庭で話し合い、食の大切なことを家族で確認する - 今の食生活を見直し、体に良いものを取るように心がける - 昔の郷土料理を思い出し、地元めしを復活させる	活動を継続実施していくこと
③ 目 標	〇5つの定義を持つ「V食研究会」 - villaga food（ビレッジフード）→地産地消 - vians（ヴァイアンス）→料理 - vitamin（ビタミン）→栄養バランス - vital（バイタル）→健康 - victory（ビクトリー）→勝負飯・合格飯	- まきベイと連携した事業の実施 - 地産地消支援事業（勝負メシ）の市内外への啓発、飲食店で実食していただくこと - はしご酒事業に地産地消や健康課題の解決を盛り込むこと	「エシカル（倫理的な・多くの人々が正しいと思うこと）消費」を心がけ、持続可能な消費をする - 障がい者支援につながる、食品、商品を購入する - フェアトレードと呼ばれる適正価格で輸入されたものを購入する（バナナ・チョコレート・紅茶・コーヒー等）	食品ロス削減について幅広い周知を行う
④ 市 民 と し て の こ と	〇梅太郎博士について、ビタミンについての知識を持つ 〇ビタミンの効果を知り、食材購入時や料理する時に生かす	- まきベイなど市の事業に参加する - 牧之原市の地場産物を知る - 牧之原市のブランドを知る - 市内に飲食店等で食事や買い物をする - イベントに参加する - 食やイベントに関する情報をSNS等で得る	- 地産地消を広める。地元の野菜を購入し規格外の野菜を活用する - 必要な物だけ購入し、食べ残しが無いようにして、生ごみを減らす - 外食は食べられるものだけ注文、御飯の量を伝える	- 家庭内で、食品ロスを減らす⇒ごみの減量⇒CO2削減（エコ） - ローリングストック法を実践し、周知を行う - 賞味期限の近いものを手前取りするなど実践する
⑤ 団 体 と し て の こ と	- ビタミンマーク商標登録継続 - 梅太郎丼の啓発 - ビタミンレンジャーの復活	- マキティーカレーの推進 - 食を盛り込んだイベント、事業の実施 - まきベイやイベント開催の周知、参加を促す。 - SNSを活用した、まきベイやイベント開催の周知の実施。	- 市民の出前講座を実施し、SDGs（17項目）フェアトレード、エシカル消費などについて学ぶ機会を作り、啓発を行う - 海の環境を守るため、プラスチックごみの削減に取り組む - ペットボトルキャップを集め、世界のこどもにワクチン等の医療支援を行う、エコキャップ運動に参加する	- 家庭内で、食品ロスを減らす⇒ごみの減量⇒CO2削減（エコ） - ローリングストック法を実践する

4 自殺対策計画関連

(1) 計画策定関係名簿

① いのち支える牧之原市自殺対策計画ネットワーク会議外部委員名簿

	所属		氏名
1	弁護士会	日本司法支援センター静岡地方事務所（法テラス静岡）	中野 聡
2	労働基準監督署	島田労働基準監督署	内藤 皓將
3	ハローワーク	島田公共職業安定所榛原出張所（ハローワーク榛原）	漆畑 博仁
4	医師会	榛原医師会（田形内科医院）	田形 雅通
5	総合病院	榛原総合病院 患者支援センター	川嶋 温香
6	警察署	牧之原警察署 生活安全課	狩野 晃一
7	消防署	静岡市牧之原消防署	高橋 雄史
8		静岡市吉田消防署	石村 友
9	保健所	静岡県中部健康福祉センター 福祉課 精神保健福祉班	興津 のり子
10	民生委員児童委員	牧之原市民生委員児童委員協議会	関 益美
11	社会福祉協議会	（福）牧之原市社会福祉協議会	榛葉 清澄
12	相談支援事業所	（福）牧ノ原やまばと学園 生活支援センターやまばと	柚原 史織
13	地域包括支援センター	（福）賛育会 相良清風園 地域包括支援センターさんいく	阿形 小百合
14	教育委員会	学校教育課（スクールソーシャルワーカー）	青木 まゆみ
15	商工会	牧之原市商工会	岩瀬 正宣
16	企業関係	静岡県中小企業家同友会榛南支部	鈴木 茂
17	相談機関	曹洞宗 海上山 釣徳寺	児玉 龍典

② 行政担当委員

構成組織（部署名）		構成組織（部署名）	
総務部	危機管理課	健康推進部	健康推進課
企画政策課	地域振興課		長寿介護課
市民生活部	環境課	産業経済部	商工企業課
福祉こども部	社会福祉課	建設部	公園公共建築課
	子ども子育て課	教育文化部	学校教育課
	福祉相談課		社会教育課

(2) 策定経過

年月日	会 議 等	内 容
令和5年 6月14日	庁内担当者会議	・第1次計画の説明 ・自殺対策事業の令和5年度課題
7月20日	第1回ネットワーク会議	・第1次計画の進捗状況報告 ・壮年期男性の自殺を減らす取組の意見交換
9月	健康と食に関するアンケート調査 (自殺対策計画に係る調査内容) の意見聴取	
10月24日 ～ 11月15日	健康と食に関するアンケート調査	・食生活、運動、心身の状態、日常生活・健康意識 ・日常生活、学校や勉強、取り巻く環境、子育ての悩み、経済的状況
令和6年 1月31日	第2回ネットワーク会議	・第1回ネットワーク会議以降の進捗状況報告(自殺未遂者支援事業、壮年期男性への取組、アンケート調査概要) ・第1次計画の振り返り、第2次計画の重点対策の検討
4月18日	第1回本部会議(部長情報会議)	・令和5年度自殺対策ネットワーク会議の報告 ・第2次計画策定体制及びスケジュール説明
5月29日	庁内担当者会議	・第1次計画の説明 ・自殺対策事業の令和6年度課題
7月22日	第1回ネットワーク会議	・第2次計画の基本的考え方、重点対策・基本施策の検討 ・第4次健康増進計画 こころの分野について、課題・目標確認と対策の検討
10月	第2次計画(案)の確認	書面による確認、意見聴取(外部委員、庁内委員、各部長)
11月28日 ～ 12月27日	パブリックコメント	
令和7年 2月20日	第2回ネットワーク会議	パブリックコメント報告及び計画案の提示・承認

第4次健やかプランまきのほら

令和7年3月策定

発行・編集

牧之原市 健康推進部 健康推進課

〒421-0422

静岡県牧之原市静波 991 番地 1

TEL : 0548-23-0024

FAX : 0548-24-1005

Email : kenko@city.makinohara.lg.jp